



ご使用方法

- 十全マメタンをご使用の場合は、マメタンが $\frac{1}{2}$ 位赤くなるまで着火させて、あんかの中央の穴に入れてください。
- 就寝の2時間くらい前に布団に入れるのが最適です。
- 岩綿を多く詰めるほどあんかの温度は下がりますので、やわらかい暖かさをお望みのかたは、岩綿を補充してください。
但し、詰めすぎると立消えすることがあります。
- あんかの岩綿は使用によって、固まったり、減ることがあり、このような時には温度が上がりすぎることがあります。その時は、別売の十全あんか用ロックウールセットと交換してください。

ご使用上の注意

マメタンをガラス繊維（サシコマット）・岩綿（ロックウール）で包んでいますので、安全ですが次の注意事項をお守りいただき、特に「火災」と「やけど」にご注意ください。



火災に注意

- あんかには、熱に弱いポリプロピレン、塩ビ系の繊維を使用している布団やシーツ等、又、ゴム系のマットレスや合繊マットレス等を使わないでください。これらのふとん、シーツ、マットレス等は蓄熱し、こげて火災になる場合があります。
- あんか2個以上を一緒にして布団の中に入れてください。
又、おやすみ中でない布団の中に、長時間あんかを放置しないでください。
- あんかの温度が高すぎる時は、岩綿を補充、又は取替えてください。
- 布袋の上からタオル等にくるむと、更に温度が高くなりますので、くるまないでください。
- あんかを電気毛布、電気敷布、電気カーペット等他の暖房器具とは、絶対に併用しないでください。
- 灰を捨てるときは、完全に消えていることを確認し、火災のおそれのない安全な所へ捨ててください。



やけどに注意

- 就寝中あんかに直接身体を長時間ふれておられますと火傷の恐れがあります。特にお子様・お年寄り・ご病人・眠りの深い人・飲酒後の就寝・疲れている場合等は、ご注意ください。
- 赤ちゃん・ご病人等1日中あんかをご使用の場合は、なるべく足から離れたところにあんかを入れ、時々位置をかえてください。
- 布団の中に熱気が満ちますので、布団にもぐらないようご注意ください。